

みやけの風

第 147 号

平成15年(2003年)10月25日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

ふれあい集会まで、あと1ヶ月となりました。個別配車の利用希望もすでに10名以上来ています。また、遠くに住んでいる人はこの集会をとて楽しみにしているようです。普段はなかなか会えない人に会えるのもふれあい集会の良さですね。暮れを迎える前にまた島の人みなで会いましょう。秋の一日三宅島。いまから楽しみにしています。

みんなの声

息子の成長

「えっ、お父さんは帰るの?」と長男坊が言いました。島に帰ろうという話を夫婦でしていた時のことです。避難時に小3だった彼は学校に剣道にそして遊びにと毎日を夢中で過ごし、来春には中学生になります。剣道は島で教わり、今も続けています。身長は20センチ以上伸び、靴は父親より大きい物を履くようになりました。

冗談のようにして「お前は阿古中だろ」と言うと、真顔で「こっちの中学に行きたい」と言います。友達と別れたくないのです。好きな女の子も出来たみたいだし・・・(生意気にも片想いではないらしい)。もちろん、保育園から共に過ごした島の幼なじみの友達のこと大切に思っています。思春期の入口で出来た、毎日を共に過ごすこちらの友達が彼なりにとても大切なのはわかります。

「あたしも帰りたいんだけど」と家内が言うと、ベソをかきそうな顔になったのでそれ以上は言わず、「漢字テストで18点(100点満点なのに!)なんて点を取ってくるうちは言うことは聞いてやんねえぞ」とおどかしておきました。まあ、それなりの点を取るようになるには時間があるでしょう。

帰島の目処がいつごろつくのか今はまだ分かりませんが、どういう選択をするか家族で良く話し合わなければならない日が来ます。今すぐではないにしても、そう遠く

ない将来、いつか必ず来ます。学校のこと、仕事のこと、帰島後の島の環境など子供を持った親たちは、きっとみんな悩んでいると思います。

村立中学校の入学案内が我が家にも届きました。校長先生をはじめ、先生方の苦しい胸のうちを察して余りある思いがしました。(阿古 桑村 健司)

八丈島で考えたこと

10月3、4、5日と、八丈島の西野園芸に援農してきました。

9月22日に八丈島を襲った台風15号は家屋や樹木、そして施設園芸にも大きな被害を与えていました。

島内数カ所にパイプハウスを借りている西野さんも、かなり被害を受けていました。

私が手伝ったのは、これからユリの球根を植えるハウスの土壌消毒とそのハウスにビニールを張り替える仕事でした。三宅では果樹中心の私には慣れない作業でしたが、どうにか3日間で一棟を完成しました。

農業仲間であり、年も同じ私達は3日間よく話しました。八丈の農業と三宅の農業の比較、日本の農業、そして、これからのお互いの農業、等々。

西野さんを見ていると、やはり、百姓は畑を耕してこそ百姓なのだと思います。この冬からでも竹を抜き、ハンノキをふせて、自分の畑をつくり始めたいものだと思います。八丈島を後にしました。

(東久留米市 伊豆 大崎 興洋)

いよいよ明日です。ふるってご参加ください！！**三宅島島民ふれあい集会島民実行委員会事務局****三宅島災害・東京ボランティア支援センター**

前号でもお知らせしたとおり、『三宅島島民ふれあい集会実行委員会』を行います。三宅島島民ふれあい集会は、これまでも、島民の方々のご要望にできるだけ添った集会にしようとして、毎回、島民実行委員に入っていたいただいた形で開催してまいりました。実行委員会には、どなたでもご参加いただけますので、それぞれがお忙しい中とは存じますが、ぜひとも実行委員会にご参加いただき、より楽しい集会になるよう、率直なご意見、ご要望をお寄せいただければと思います。

第7回三宅島島民ふれあい集会 第1回島民実行委員会

日 時：平成15年10月26日(日) 13:30～15:30

会 場：**飯田橋セントラルプラザ12階 A会議室** (JR飯田橋駅西口すぐ)

お問合せ：第7回三宅島島民ふれあい集会実行委員会事務局

三宅島災害・東京ボランティア支援センター

TEL:03-3260-7573/FAX:03-5229-1646

耳 寄 り 報
情 報**そば打ち体験に三宅島の方をご招待**

先週号でもお伝えしましたが、夏休みの参加者の再開希望と、また、皆さまとそば打ちを楽しみたいとの思いで、10月、11月に体験会を企画しました。各日ごとに、4人1組で5組(約20名)をご招待します。お一人の方でも人数調整いたしますので、お気軽にお問合せください。開催日の1週間前までに三宅島島民連絡会まで、お申し込みください。皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：10月26日(日)・28日(火)

11月28日(土)・30日(日)

いづれも10:00集合 10:30～14:00 昼食つき

(ご自分で打ったそばを、お楽しみいただきます)

場 所：須黒食品物流センター2Fキッチンスタジオ

(JR南武線矢野口駅より徒歩5分)

お申し込み：三宅島島民連絡会事務局 TEL&FAX：03-3269-1243

被災市民ホットライン

被災市民専用無料電話法律相談

電話 (03) 3359-3552

土日祝日を除く毎日 午後4時から午後7時まで

法律上の困り事や悩み事の相談を無料でお受けします

また、司法書士報酬を免除することができるようになりました

詳細は、お気軽にお電話ください

全国青年司法書士協議会(全青司)

担当：北斗共同事務所 後閑(ごかん)

北区赤羽1-52-10 NSビル5F TEL:03-3598-0444